

故 岡村国和教授 略歴

1952年8月14日 東京都生まれ

学 歴

- 1971年3月 神奈川県立横浜翠嵐高等学校卒業
1973年4月 慶應義塾大学商学部入学
1977年3月 慶應義塾大学商学部卒業
1977年4月 慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程入学
1979年3月 慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程卒業（修士商学）
修士論文「保険市場と消費者保護—保険の制度論と商品論をめぐって」
1980年4月 慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程入学
1983年3月 慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学



職 歴

- 1983年4月 広島修道大学商学部専任講師
1986年4月 広島修道大学商学部助教授
1991年4月 獨協大学経済学部助教授
1993年4月 獨協大学経済学部教授
1994年4月 獨協大学経済学部教務主任（1996年3月まで）
1994年4月 神奈川大学経済学部非常勤講師（1996年3月まで）
1995年4月 早稲田大学社会学部非常勤講師（1996年3月まで）
1996年9月 イギリス暁星国際大学経営戦略研究所客員研究員（1998年3月まで）
1998年4月 立教大学経済学部非常勤講師（2002年3月まで）
1999年4月 神奈川大学経済学部非常勤講師（2013年3月まで）
1999年4月 慶應義塾大学商学部非常勤講師（2018年3月まで）
2000年4月 獨協大学経済学部経営学科長（2004年3月まで）
2005年4月 立教大学経済学部非常勤講師（2018年3月まで）
2008年4月 獨協大学キャリアセンター長（2012年3月まで）

2021年4月15日 病没（68歳）

所属学会における活動

- 日本保険学会 評議員、理事
慶應義塾保険学会 理事、常務理事
日本年金学会 会員
日本リスク学会 会員

主な社会活動

草加市国民健康保険運営協議会委員 2003年4月～2018年12月（2010年度から副会長）

草加市高齢者プラン策定委員会委員 2004年4月～2010年3月

厚生労働省労災保険料率検討会委員 2004年4月～2005年3月

社会保険労務士試験出題委員 2009年2月～

自賠責運用益使途選定委員会委員 2009年12月～

草加市介護保険推進委員会委員 2009年11月～2018年10月

草加市特別職報酬等審議会会長 2009年11月～2019年12月

厚生労働省労災保険財政検討委員会委員 2010年10月～2011年3月

厚生労働省労災保険の事業の種類に係る検討会座長 2012年10月～2013年3月

厚生労働省労災保険の業種区分に係る検討委員会委員 2018年4月1日～2019年3月31日

故 岡村国和教授 主要研究業績

著書（共著・共編）

- 1) 庭田範秋編著『高齢者の生活保障と年金問題』成文堂、「企業年金における受給権保証の問題——ERISAの経済的効果を中心として」（第4章）1985年9月
- 2) 庭田範秋編著『保険学』成文堂、「損害保険論」（第4章）1989年10月
- 3) 庭田範秋編著『保険経営学』有斐閣、「生命保険経営」（第2章）1992年1月
- 4) 庭田範秋、石田重森編『キーワード解説 保険・年金・ファイナンス』東洋経済新報社、「企業年金制度の改革」（第9章）2004年5月
- 5) 堀田一吉・岡村国和・石田成則編『保険進化と保険事業』慶應義塾大学出版、「生命保険相互会社における進化的コーポレート・ガバナンスについて」（第8章）2006年5月
- 6) 石田重森編『保険学のフロンティア』慶應義塾大学出版会、「保険をめぐる共同体と相互扶助」（第2章）2008年11月
- 7) 田畑康人・岡村国和編『読みながら考える保険論』八千代出版、「経済社会と保険経営」（Ⅱ部 第1章～第4章）、「損害保険の基礎と現代的課題」（Ⅲ部 第2章）2010年7月
- 8) 田畑康人・岡村国和編『読みながら考える保険論 増補改訂版』八千代出版、2013年4月
- 9) 田畑康人・岡村国和編『人口減少時代の保険業』慶應義塾大学出版会、「人口減少時代における保険業の戦略的課題と将来」（第11章）2011年5月
- 10) 田畑康人・岡村国和編『読みながら考える保険論 増補改訂第4版』八千代出版、2020年4月

学術論文

- 1) 「保険の経営競争に関する考察——広告による販売競争について」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第34集、1982年6月
- 2) 「保険市場における競争に関する一考察——価格と参入について」『保険学雑誌』（日本保険学会）第498号、1982年9月
- 3) 「保険の競争に関する経済学的分析」『保険学雑誌』（日本保険学会）第510号、1985年9月
- 4) 「企業年金におけるインフレ対応の諸問題について」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第38集、1986年6月
- 5) 「預金保険の経済効果とその限界」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第39集、1987年6月
- 6) 「変革期における企業年金の課題」『日本年金学会誌』（日本年金学会）第8号、1987年12月
- 7) 「中小企業の従業員福祉に関する考察」広島修道大学地域経済研究会編『地域経済の現状と課題』広島修道大学研究叢書第66号、1992年2月
- 8) 「米国における損害保険業の経営戦略とその課題」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第44集、1992年6月
- 9) 「勤労者生活と年金問題」『季刊 年金と雇用』（年金総合研究センター）第11巻2号、1992年8月
- 10) 「積立型保険をめぐる損害保険の変容に関する考察」『三田商学研究』（慶應義塾商学会）第36巻第1号、1993年4月
- 11) 「米国企業年金の制度消滅に関する考察」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第45集、1993年9月
- 12) 「オプション理論からみた年金制度——PBGCを中心として」『日本年金学会誌』（日本年金学会）第13号、1993年12月
- 13) 「保険業の規制に関する考察——保証基金の導入を中心として」『保険学雑誌』（日本保険学会）第546号、1994年9月
- 14) 「米国企業年金の財政と母体企業の行動について——FAS87をめぐる」『企業年金の現状と将来（第一部）』（年金総合研究センター）1995年9月

- 15) 「米国企業年金における給付保証保険に関する考察」『企業年金の現状と将来（第二部）』年金総合研究センター、1996年3月
- 16) 「イギリスにおける福祉国家の再生について」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第50集、1998年11月
- 17) 「公的年金をめぐる公正の概念について」『日本年金学会誌』（日本年金学会）第19号、2000年3月
- 18) 「人口減少時代における保険業の課題」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第64集、2012年10月

翻訳その他

- 1) 庭田範秋監訳『イギリス保険史』明治生命100周年記念刊行会、真屋尚生、石田重森、田畑康人共訳、1985年6月、第7章、第11章（Harold E. Raynes, *A History of British Insurance, 2nd edition*, Pitman & Sons Ltd., 1964）
- 2) 「福祉社会における保険制度の在り方」『共済と保険』（共済保険研究会）第18巻2号、1976年10月
- 3) 「保険におけるコンシューマリズムの生成、展開と行政」『共済と保険』（共済保険研究会）第20巻4号、1978年4月
- 4) 「生命保険事業における有効競争の限界——料率競争をめぐる」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第32集、1980年6月
- 5) 「損害保険市場における競争をめぐる」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第33集、1981年6月

書評

- 1) 「庭田範秋『増補・改訂 社会保障の基本理論』慶應通信、1977年」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第30集、1978年6月
- 2) 「庭田範秋『損害保険の経済分析』千倉書房、1979年」『共済と保険』（共済保険研究会）第22巻2号、1980年2月
- 3) 「木村栄一、高木秀卓、庭田範秋『保険の知識』有斐閣新書、1981年」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第33集、1981年6月
- 4) 「庭田範秋『社会保障の課題と財政』千倉書房、1982年」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第35集、1983年6月
- 5) 「庭田範秋『新種保険論』慶應義塾大学商学会、1988年」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第41集、1989年6月
- 6) 「佐々木一郎『年金未納問題と年金教育』日本評論社、2012年」『保険学雑誌』第264号、2014年3月

学会・研究会報告、講演、シンポジウムなど

- 1) 「保険における消費者保護」慶應義塾保険学会、1978年10月
- 2) 「生保事業における有効競争の限界について」生命保険文化研究所、1980年7月
- 3) 「保険市場における競争に関する考察」日本保険学会関東部会、1982年1月
- 4) 「保険の非価格競争に関する考察」生命保険文化研究所、1982年5月
- 5) 「年金をめぐる高齢者と企業の経済問題」慶應義塾保険学会、1982年12月
- 6) 「保険の競争に関する経済学的分析」日本保険学会全国大会、1984年10月
- 7) 「変革期における企業年金の課題」日本年金学会、1983年5月
- 8) 「米国における損害保険の経営戦略とその限界」慶應義塾保険学会、1991年11月
- 9) 「オプション理論からみた年金制度」日本年金学会、1993年6月
- 10) 「高齢化社会における老後の生活保障について」第22回獨協大学公開講座、1992年10月（『エイジレスライフ』1992年12月）
- 11) 「保険業の規制に関する考察——保証基金の導入を中心として」日本保険学会全国大会、1993年10月

- 12) 「保険業における規制と規制緩和——保証基金制度再考」生命保険文化研究所、1996年6月
- 13) 「英国の福祉政策について」慶應義塾保険学会、1998年11月
- 14) 「公的年金をめぐる公正の概念について」日本年金学会、1999年11月
- 15) 「新たな保険危機を考える——リスクマネジメント産業への成長と保険業界の課題」慶應義塾保険学会公開シンポジウム、1999年12月（パネリスト：松尾徹、武田裕一、岡村国和、堀田一吉『保険研究』（慶應義塾保険学会）第52集、2000年8月）
- 16) 「IT社会は保険事業をどう変えるか」慶應義塾保険学会・公開シンポジウム、2000年12月（パネリスト：尾籠裕之・猪又肇・岩田雅之・堀田一吉・岡村国和『保険研究』（慶應義塾保険学会）第53集、2001年8月）
- 17) 「人口減少時代に保険業はどうか」慶應義塾保険学会公開シンポジウム、2011年12月（「人口減少時代における保険業の課題」『保険研究』（慶應義塾保険学会）第64集、2012年10月）

